

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 41 号

第 41 週(10月 8日 ~ 10月14日)

発行年月日:平成19年(2007年) 10月19日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

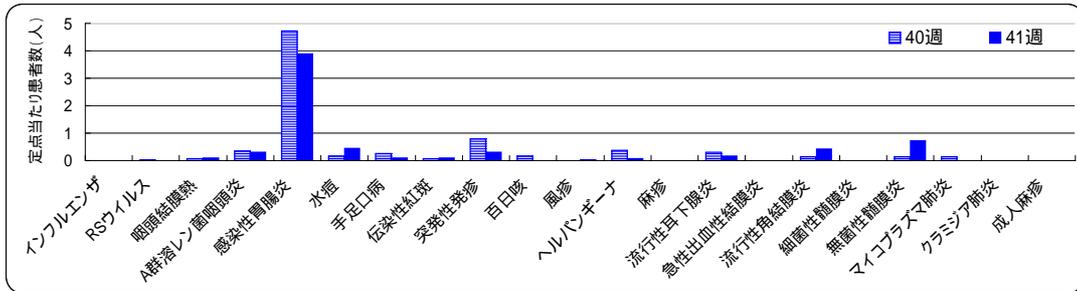
無菌性髄膜炎の発生は長浜保健所管内で急増

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりさらに減少し、1~41週で最も少なくなっています。今週増加した疾患は水痘、流行性角結膜炎、無菌性髄膜炎等で、減少した疾患は感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

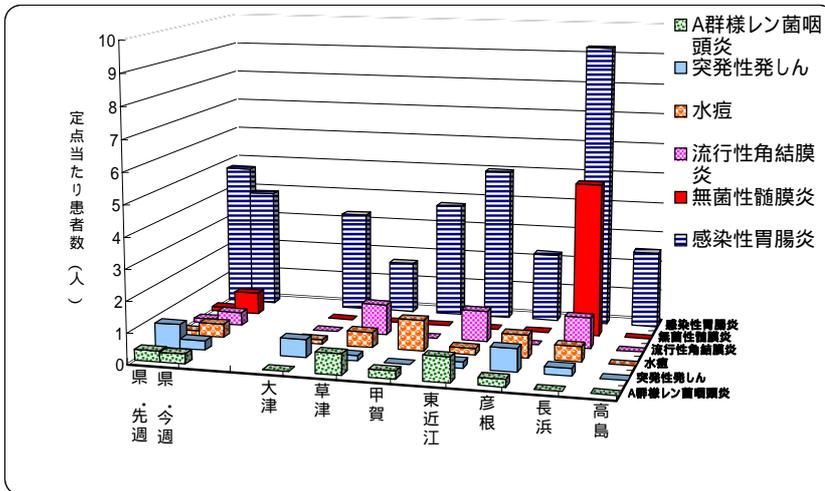
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、すべての保健所管内において、警報および注意報の発生はみられません。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で6名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で2名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

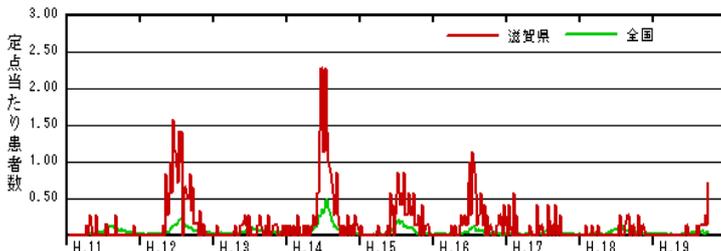


上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第41週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、無菌性髄膜炎、流行性角結膜炎、水痘、突発性発疹およびA群様レン菌咽頭炎の順に多くなっています。感染性胃腸炎は長浜で先週に引き続き多い状態となっています。また、無菌性髄膜炎は長浜で急増しています。

無菌性髄膜炎の発生状況(平成11年第14週~平成19年第41週、H11.4.5~H19.10.14)



年別発生状況は左記のグラフに示すとおりです。平成19年第1~41週における滋賀県の届出数は15名で、年齢別では4歳2名、5歳3名、6歳2名、7歳2名、8歳1名、10~14歳4名および15~19歳1名となっています。また、全国では島根県、岐阜県、沖縄県、千葉県、山形県の順に多くなっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (41週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (41週)	全国 (41週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	6	136	11,112	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	11	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	392	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	2	46	3,857	54	3,910
	パラチフス	0	1	15	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	0	47	2	70
	A型肝炎	0	0	122	21	316
	デング熱	0	1	75	0	57
	マラリア	0	1	41	0	61
	レジオネラ症	0	6	499	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	608	8	738
	ウイルス性肝炎	0	1	180	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	113	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	79	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	7	1,140	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	39	1	87
	梅毒	0	0	553	4	625
	破傷風	0	0	75	1	115
	急性脳炎	0	2	181	1	160

*1: 平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

*3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第41週(10/8～10/14) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 3例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 16例
二類感染症: 結核 223例	オウム病 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
三類感染症: コレラ 1例	つつが虫病 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
腸管出血性大腸菌感染症 166例	日本紅斑熱 6例	ウイルス性肝炎 4例
腸チフス 1例	マラリア 3例	破傷風 1例
四類感染症: E型肝炎 2例	レジオネラ症 9例	梅毒 12例
	五類感染症: アメーバ赤痢 4例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第36～41週、9/3～10/14)

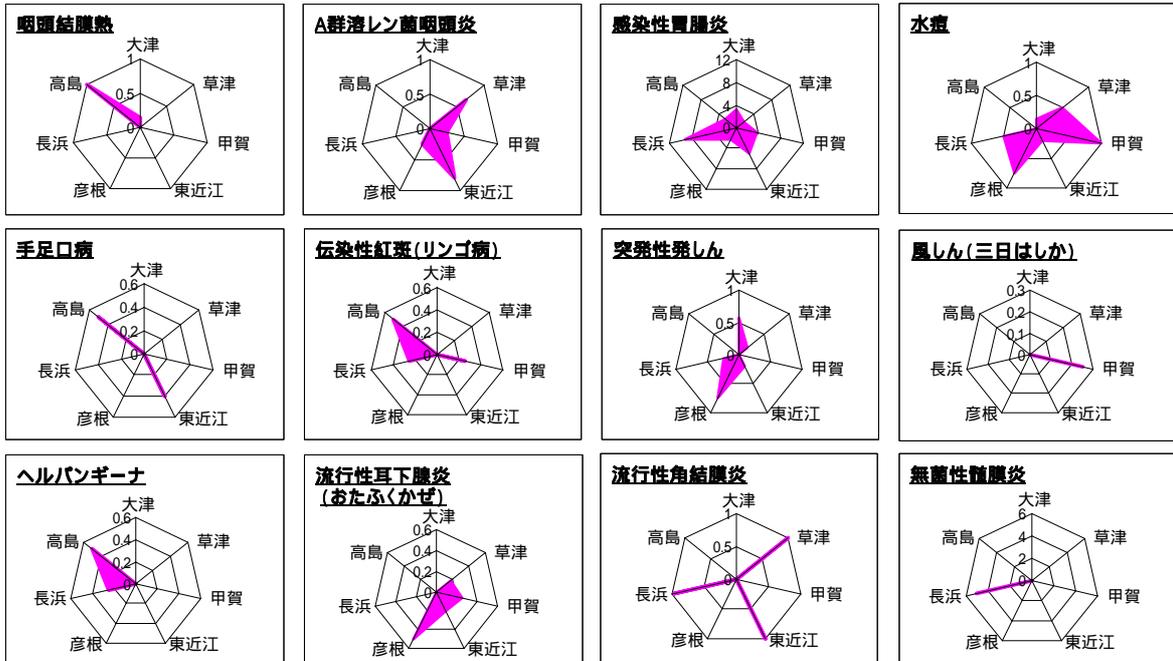
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	36週 (9/3～)	37週 (9/10～)	38週 (9/17～)	39週 (9/24～)	40週 (10/1～)	41週 (10/8～)	37 38 39 40 41
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0	0	0	0.03	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0.16	0.38	0.22	0.06	0.09	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	0.28	0.44	0.34	0.34	0.31	
感染性胃腸炎	4.34	5.00	4.16	4.63	4.72	3.88	
水痘	0.31	0.25	0.38	0.22	0.16	0.44	
手足口病	0.25	0.09	0.34	0.38	0.25	0.09	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0.09	0	0	0.06	0.09	
突発性発しん	0.50	0.72	0.78	0.38	0.78	0.31	
百日咳	0.03	0.03	0	0	0.16	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0.03	
ヘルパンギーナ	0.81	0.69	0.44	0.31	0.38	0.06	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.13	0.38	0.16	0.44	0.31	0.16	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0.43	0.14	0.14	0.14	0.43	
細菌性髄膜炎	0	0.29	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0.29	0.14	0.71	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0	0	0.14	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第41週、10/8～10/14)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.14	0	0	0	0	0	1.00	■
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0	0.67	0.25	0.80	0.25	0	0	■
感染性胃腸炎	3.88	3.29	1.67	3.75	5.00	2.25	9.25	2.50	■
水痘	0.44	0.14	0.50	1.00	0.20	0.75	0.50	0	■
手足口病	0.09	0	0	0	0.40	0	0	0.50	■
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0	0.25	0	0	0.25	0.50	■
突発性発しん	0.31	0.57	0.17	0	0.20	0.75	0.25	0	■
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	■
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0	0	0.25	0.50	■
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0	0.17	0.25	0.20	0.50	0	0	■
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	1.00	0	1.00	0	1.00	0	■
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.71	0	0	0	0	0	5.00	0	■
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 1 2 3 4
 定点当たり患者数(人)

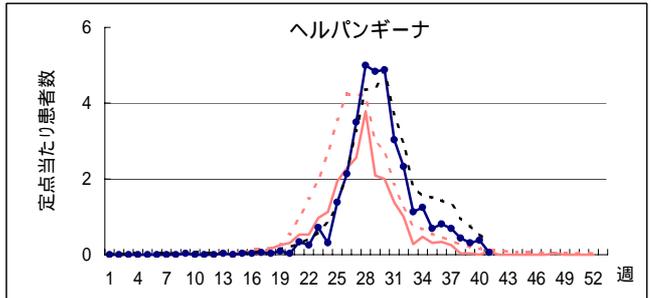
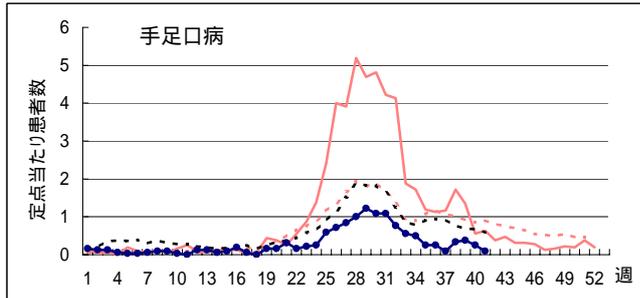
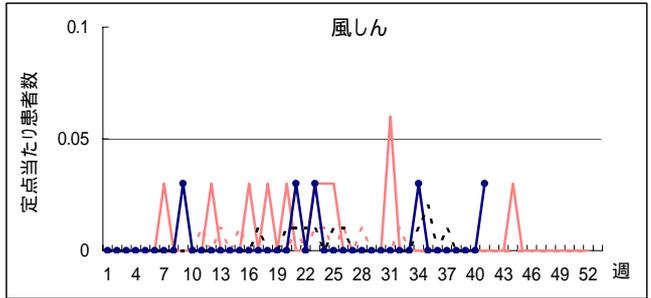
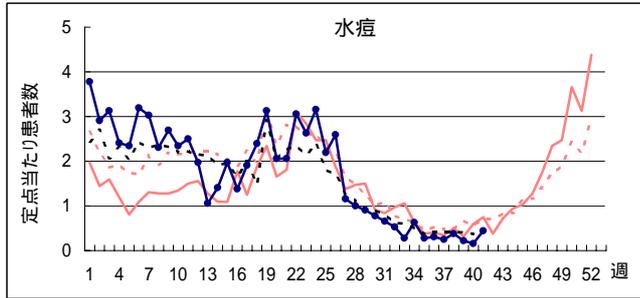
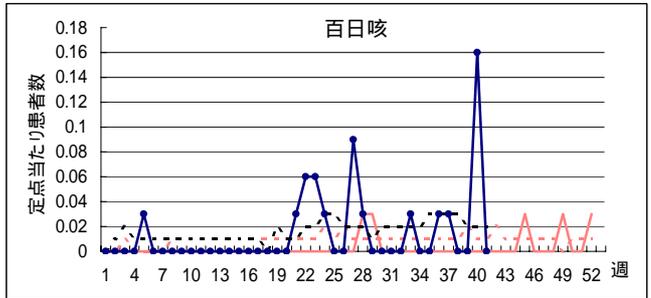
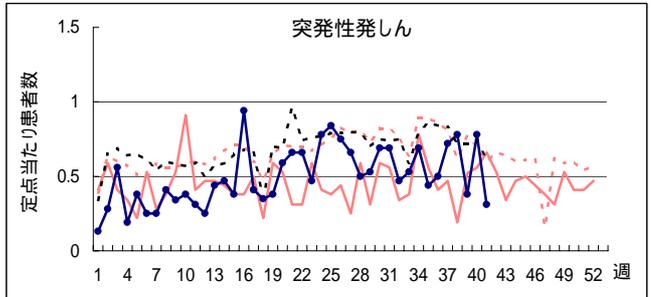
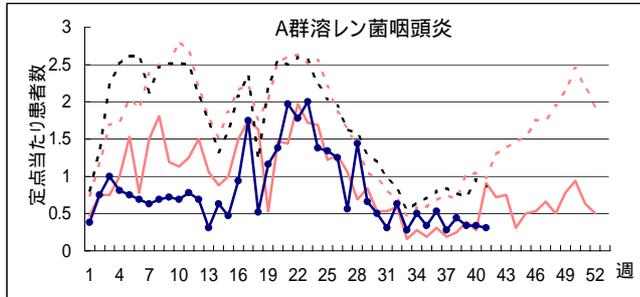
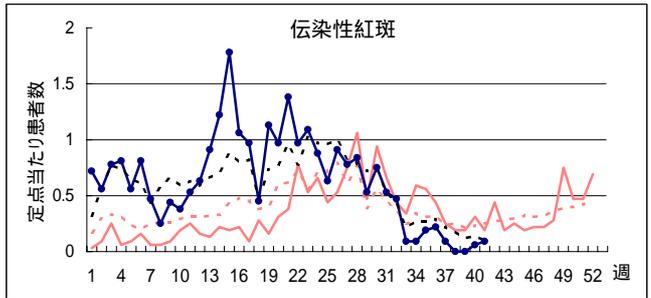
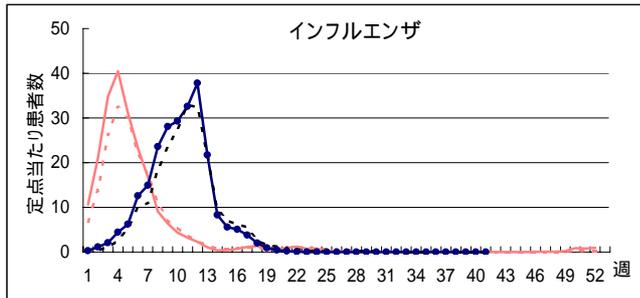
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

- 感染性胃腸炎-----県全体の定点当たり患者数は先週より減少していますが、大津では増加しています。また、長浜では多い状態が続いています。
- 水痘-----大部分の保健所管内で先週より多くなっています。例年、冬季に増加しますので、今後の発生状況に注意が必要です。
- 風しん-----甲賀から報告されています。
- 無菌性髄膜炎-----県全体では、第35週以降7週連続して報告があり、東近江からは36週以降5週連続して報告されています。今週は、特に長浜からの報告が5名と多くなっています。また、第1～41週の報告数は15名で、男性10名および女性5名となっています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第41週、H19.1.1～H19.10.14)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第41週、H19.1.1～H19.10.14)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

